

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	坂田和巳
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3531
事務事業名	4215 交通安全施設整備事業										
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策	03021600 交通安全対策の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080204 土木費・道路橋梁費・交通安全施設費									
	事業	010000 交通安全施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
交通安全対策の充実、交通安全施設の整備を行う。						交通安全施設整備として道路反射鏡、防護柵、区画線、道路標識の新設及び更新を順次進める。市民の交通安全への関心が高く、安全施設に対する要望は多い。万一の事故発生を未然に防ぎ道路管理者の責任を果たす役割は大きい。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置
平成26年度 実績	平成27年度 予定
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		16,083	11,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		16,083	11,000
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.2
総額		16,083.0	11,000.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,940	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	9,983	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	160	手数料 保険料 補修用材料費 自動車重量税

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	消耗品費 修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	8,500	交通安全施設整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,500	手数料 補修用材料費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	現代の交通社会の状況から、道路管理者としての責務は重くなっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	道路反射鏡、道路標識等の設置に対する要求が増加しており、財源が不足。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	道路反射鏡、道路標識等の更新も視野に入れながら、新規の要求にも対応すると、コストは落とせない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

現状の財政状況から道路拡幅、歩道設置等が望めないことから、増々道路反射鏡、道路標識等の設置へ傾注し要求は圧力にさえ感じる。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
整備の優先順位を決め、計画的に実施していく。		交通事故のない環境を整備していくために、交通安全施設の適切な維持管理を進める	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	